至誠館大学

科目名	ゴルフ専門特別講義			コード	
英語表記	Golf in Theory and Science				
担当教員名	國木孝治			年度	平成28年度
基準年次	4年次	開講期	前期	単位数	2
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択

授業概要

本授業は、これまでに履修してきた『ゴルフ基礎理論(1年次後期)』『ゴルフ総論A・B(1年次)』『ゴルフ運動解析学(2年次前期)』『ゴルフ用具ルール論Ⅰ・Ⅱ(2年次)』『ゴルフスポーツマネジメント論(3年次)』『ゴルフ施設管理論(3年次)』『ゴルフ企業経営論Ⅰ(4年次)』を総括する授業として位置付き、ゴルフに関する総合的な知識と理論を獲得することを目的に開講する。具体的には、各回の授業計画に基づき理論を展開したうえで、それぞれの課題についてディスカッション、資料研究を展開するような演習形式で行われ、最終的には各自の関心に基づく研究成果を残すことを課題としている。

到達目標

・ゴルフに関する総合的な知識と理論を獲得することができる。
・獲得した知識と理論に基づき、今後のゴルフ発展のための展望を見い出すことができる。

授業計画

第1回	ゴルフの歴史学①:スポーツとしてのゴルフ
第2回	ゴルフの歴史学②:ルールとマナー
第3回	ゴルフの歴史学③:ゴルフ場(クラブ)とゴルフ練習場(レンジ)
第4回	ゴルフの社会学①:生涯スポーツとしてのゴルフ
第5回	ゴルフの社会学②:アマチュアスポーツ・プロスポーツとしてのゴルフ競技
第6回	ゴルフの社会学③:ゴルフ場の環境問題
第7回	ゴルフ経営学①:諸外国の現状と課題
第8回	ゴルフ経営学②:ゴルフ場の経営、ゴルフレンジの経営
第9回	ゴルフ経営学③:ゴルフ場の施設管理、ゴルフレンジの施設管理
第10回	ゴルフの科学①:道具の科学
第11回	ゴルフの科学②:スウィングの科学
第12回	ゴルフの科学③:コンディショニングの科学
第13回	ゴルフの心理学①:自己の心理分析(自己心理テスト)
第14回	ゴルフの心理学②:集中力の科学(インナーゴルフ)
第15回	研究レポートのまとめ。授業の総括

評価方法と基準

授業出席状況、授業態度・意欲、研究レポートの内容を合わせ、総合的に評価する。

評価項目と割合

授業態度	期末試験	レポート	その他

授業外学習

テキスト、教材

適宜配布

参考書

・井山登志夫(2007)ゴルフのルーツを探る, 中央公論事業出版:東京.　・大塚和徳(2002)ゴルフ先年:タイガーウッズまで, 中公新書:東京.　・ピア・ニルソン(2010)GOLF54ビジョン, ゴルフダイジェスト社:東京.　・安井良次(2005)メンタルゴルフ, トランスワールドジャパン:東京.　・W.T.ガルウェイ:後藤新弥訳(2002)新インナーゴルフ, 日刊スポーツ出版社:東京.　・田中淳夫(2009)ゴルフ場は自然がいっぱい, ちくま書店:東京.　・廣瀬光雄(2007)ゴルフ・ルネサンス, ダイヤモンド社:東京. ・ほか適宜紹介

キーワード

・ゴルフ史　・ゴルフの社会学　・ゴルフ経営学　・ゴルフの科学　・ゴルフの心理学